

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029001	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (G1~G3_L(仏1)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Target students	G1~G3_L(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記アドレスのEメール、あるいはLACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>教科書は「Parallele 1」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、フランスの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込みましょう。事後学習はネット上のfr ncegoの練習問題をしましょう。		
キーワード/Key word	フランス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パラレル1」 (白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使ってみたいですね。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	フランス人の先生の講演を聞く。 「ピエール・ロチの『お菊さん』－フランス人作家から見た明治時代の長崎」	A B C D
2	1) フランス語圏とフランスの周りの国々を知る 2) アルファベットの発音と母音字の読み方を知ろう 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C D
3	1) 子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみよう 2) 基本表現を覚えて言ってみよう（お礼、謝る、など） 3) 出会い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム	A B C D
4	「パリで聞く。あれは何ですか」（1） 1) 「これはどういう意味ですか？」 2) 女性名詞と男性名詞がある！ 3) 冠詞を知ろう	A B C D
5	「パリで聞く。あれは何ですか」（2） 1) 「これは何ですか？」「オルセー美術館です」 2) フランス人の挨拶の仕方を動画で見よう 3) ペアレッスン	A B C D
6	「パリで聞く。あれは何ですか」（3） 1) 名前と～人の言い方を覚えよう 2) 色々な人に質問する 3) Le?on 1 の単語小テスト	A B C D
7	「自己紹介をしてみよう」（1） 1) 仕事は何？ 学生です 2) 「フランス語で何と言うの？」 3) ?tre(...である)を学ぶ	A B C D
8	「自己紹介をしてみよう」（2） 1) 形容詞を知る 2) 1から20までの数を数えられるようになる 3) 練習問題	A B C D
9	「自己紹介をしてみよう」（3） 1) つづり字の読み方：読まない字もある 2) 日常の単語を知る 3) 聞き取りをする	A B C D
10	「空いてる部屋はありますか？」（1） 1) 動詞 avoir（持っている）の活用を覚える 2) 空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 3) Le?on 2 の単語小テスト	A B C D
11	「空いてる部屋はありますか？」（2） 1) 否定形を学ぶ 2) 「...を持っていますか？」ペアレッスン 3) 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ	A B C D
12	「空いてる部屋はありますか？」（3） 1) 名前のつづりを言ってみる 2) 発音に気を付けてシャンソンを聴いてみる 3) 20から60までの数が言えるようになる	A B C D
13	「会話をしてみよう」（1） 1) 指示形容詞「この・その・あの」を知る 2) 動詞活用を調べてみよう 3) 練習問題	A B C D
14	「会話をしてみよう」（2） 1) 自由に会話をしてみよう 2) 移民について知る 3) シャンソンを歌ってみよう Le?on 3 の単語確認	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029002	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (L(仏2)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	L(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記メールアドレスで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>教科書は「Parallele 1」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。</p> <p>また、フランスの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。</p> <p>フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込みましょう。事後学習はネット上のfr ncegoの練習問題をしましょう。		
キーワード/Key word	フランス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パラレル1」 (白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使ってみたいですね。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	フランス人の先生の講演を聞く。 「ピエール・ロチの『お菊さん』 - フランス人作家から見た明治時代の長崎」	A B C D
2	1) フランス語圏とフランスの周りの国々を知る 2) アルファベットの発音と母音字の読み方を知ろう 3) フランス語で挨拶してみよう	A B C D
3	1) 子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみよう 2) 基本表現を覚えて言ってみよう（お礼、謝る、など） 3) 出会い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム	A B C D
4	「パリで聞く。あれは何ですか」（1） 1) 「これはどういう意味ですか？」 2) 女性名詞と男性名詞がある！ 3) 冠詞を知ろう	A B C D
5	「パリで聞く。あれは何ですか」（2） 1) 「これは何ですか？」「オルセー美術館です」 2) フランス人の挨拶の仕方を動画で見よう 3) ペアレッスン	A B C D
6	「パリで聞く。あれは何ですか」（3） 1) 名前と～人の言い方を覚えよう 2) 色々な人に質問する 3) Le?on 1 の単語小テスト	A B C D
7	「自己紹介をしてみよう」（1） 1) 仕事は何？ 学生です 2) 「フランス語で何と言うの？」 3) ?tre(...である)を学ぶ	A B C D
8	「自己紹介をしてみよう」（2） 1) 形容詞を知る 2) 1から20までの数を数えられるようになる 3) 練習問題	A B C D
9	「自己紹介をしてみよう」（3） 1) つづり字の読み方：読まない字もある 2) 日常の単語を知る 3) 聞き取りをする	A B C D
10	「空いてる部屋はありますか？」（1） 1) 動詞 avoir（持っている）の活用を覚える 2) 空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 3) Le?on 2 の単語小テスト	A B C D
11	「空いてる部屋はありますか？」（2） 1) 否定形を学ぶ 2) 「...を持っていますか？」ペアレッスン 3) 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ	A B C D
12	「空いてる部屋はありますか？」（3） 1) 名前のつづりを言ってみる 2) 発音に気を付けてシャンソンを聴いてみる 3) 20から60までの数が言えるようになる	A B C D
13	「会話をしてみよう」（1） 1) 指示形容詞「この・その・あの」を知る 2) 動詞活用を調べてみよう 3) 練習問題	A B C D
14	「会話をしてみよう」（2） 1) 自由に会話をしてみよう 2) 移民について知る 3) シャンソンを歌ってみよう Le?on 3 の単語確認	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029003	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Target students	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記アドレスのEメールか、LACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading			
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込む。各課が終わるときには語彙ページが全て記入されているようにする。動詞活用を繰り返し練習し、発音と筆記ができるようにする。		
キーワード/Key word	フランス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パラレル1」 (白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれています。 昨年は22人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行きました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使ってみたいですね。</p>
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>1</p>	<p>フランスってどんな国？ フランスについて知っていることをお互い話そう 日本語の中のフランス語</p>
<p>2</p>	<p>子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみる 基本表現を覚えて言う(お礼、謝る、など) 出会い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム</p>
<p>3</p>	<p>「あれ・これは...ですか?」「...です」；「...があります」(提示の表現) 名詞の性と数を知る 不定冠詞と定冠詞を知る；Exercicesやってくる(課題)</p>
<p>4</p>	<p>課題提出・解答 会話練習「何ですか?」「...です」；「...は何という意味ですか?」「...という意味です」 フランス人の挨拶の仕方を動画で見る；Le?on 1 の単語確認</p>
<p>5</p>	<p>Le?on 1 の単語テスト 名前と国籍の言い方を覚える；表現「...はフランス語で何と言いますか?」 会話練習で名前・国籍・身分が言えるようになる</p>
<p>6</p>	<p>Le?on 1 の単語テスト 名前と国籍の言い方を覚える；表現「...はフランス語で何と言いますか?」 会話練習で名前・国籍・身分が言えるようになる</p>
<p>7</p>	<p>国名と国籍、身分・職業の語彙を知る 表現「...はフランス語で何と言いますか?」を使う練習 主語代名詞と動詞?tre(...である)の活用を覚える</p>
<p>8</p>	<p>動詞 ?tre 活用テスト 形容詞の性・数一致の規則を知る 1から20までの数を数えられるようになる；Exercicesやってくる(課題)</p>
<p>9</p>	<p>課題提出・解答 つづり字の読み方：読まない字</p>
<p>10</p>	<p>Le?on 2 の単語テスト ホテルのフロントでの会話：空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 動詞 avoir (持っている)の活用を覚える</p>
<p>11</p>	<p>否定形について学ぶ「持っていない」 会話練習「...を持っていますか?」「持ってますよ、はいどうぞ」「すみません、持ってません」</p>
<p>12</p>	<p>avoir活用テスト 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ 表現「どんなつづりですか?」名前のつづりを言ってみる つづり字の読み方：リエゾン・アンシェヌマンについて知る：音に気を付けてシャンソンを聴いてみる</p>
<p>13</p>	<p>20から60までの数が言えるようになる 指示形容詞「この・その・あの」 動詞活用の調べ方を知る；Exercicesやってくる(課題)</p>
<p>14</p>	<p>課題提出・解答 いろいろな単語のスペルを尋ねたり、言う練習 Le?on 3 の単語確認</p>
<p>15</p>	<p>復習と試験対策</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029004	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E(仏1)_P1・P2_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	E(仏1)_P1・P2_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は「パラレル1」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込みます。各課が終わるときには語彙ページが全て記入されているようにします。動詞活用を繰り返し練習し、発音と筆記ができるようにします。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パラレル1」 (白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれます。 昨年は18人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行き、3人の先輩たちがアンジェ大学で2か月あるいは6か月の研修を受けました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使ってみて下さいね。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	フランスってどんな国？ フランスについて知っていることをお互い話そう 日本語の中のフランス語	A B C D
2	フランス語圏とフランスの周りの国々を知る アルファベットの発音と母音字の読み方を知る フランス語で挨拶してみる	A B C D
3	子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみる 基本表現を覚えて言う（お礼、謝る、など） 出合い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム	A B C D
4	「あれ・これは...ですか？」「...です」；「...があります」（提示の表現） 名詞の性と数を知る 不定冠詞と定冠詞を知る；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
5	課題提出・解答 会話練習「何ですか？」「...です」；「...は何という意味ですか？」「...という意味です」 フランス人の挨拶の仕方を動画で見る；Le?on 1 の単語確認	A B C D
6	Le?on 1 の単語テスト 名前と国籍の言い方を覚える；表現「...はフランス語で何と言いますか？」 会話練習で名前・国籍・身分が言えるようになる	A B C D
7	国名と国籍、身分・職業の語彙を知る 表現「...はフランス語で何と言いますか？」を使う練習 主語代名詞と動詞?tre(...である)の活用を覚える	A B C D
8	動詞 ?tre 活用テスト 形容詞の性・数一致の規則を知る 1から20までの数を数えられるようになる；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
9	課題提出・解答 つづり字の読み方：読まない字	A B C D
10	Le?on 2 の単語テスト ホテルのフロントでの会話：空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 動詞 avoir（持っている）の活用を覚える	A B C D
11	否定形について学ぶ「持っていない」 会話練習「...を持っていますか？」「持ってますよ、はいどうぞ」「すみません、持ってません」 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ	A B C D
12	avor活用テスト 表現「どなたつづりですか？」名前のつづりを言ってみる つづり字の読み方：リエゾン・アンシェヌマンについて知る：音に気を付けてシャンソンを聴いてみる 20から60までの数が言えるようになる	A B C D
13	指示形容詞「この・その・あの」 動詞活用の調べ方を知る いろいろな単語のスペルを尋ねたり、言う練習；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
14	課題提出・解答 Le?on 3 の単語確認	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029005	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	E(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は「パラレル1」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」, avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10%を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込みます。各課が終わるときには語彙ページが全て記入されているようにします。動詞活用を繰り返し練習し、発音と筆記ができるようにします。		
キーワード/Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パラレル1」 (白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれます。 昨年は18人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行き、3人の先輩たちがアンジェ大学で2か月あるいは6か月の研修を受けました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使ってみたいですね。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	フランスってどんな国？ フランスについて知っていることをお互い話そう 日本語の中のフランス語	A B C D
2	フランス語圏とフランスの周りの国々を知る アルファベットの発音と母音字の読み方を知る フランス語で挨拶してみる	A B C D
3	子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみる 基本表現を覚えて言う（お礼、謝る、など） 出会い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム	A B C D
4	「あれ・これは...ですか？」「...です」；「...があります」（提示の表現） 名詞の性と数を知る 不定冠詞と定冠詞を知る；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
5	課題提出・解答 会話練習「何ですか？」「...です」；「...は何という意味ですか？」「...という意味です」 フランス人の挨拶の仕方を動画で見る；Le?on 1 の単語確認	A B C D
6	Le?on 1 の単語テスト 名前と国籍の言い方を覚える；表現「...はフランス語で何と言いますか？」 会話練習で名前・国籍・身分が言えるようになる	A B C D
7	国名と国籍、身分・職業の語彙を知る 表現「...はフランス語で何と言いますか？」を使う練習 主語代名詞と動詞?tre(...である)の活用を覚える	A B C D
8	動詞 ?tre 活用テスト 形容詞の性・数一致の規則を知る 1から20までの数を数えられるようになる；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
9	課題提出・解答 つづり字の読み方：読まない字	A B C D
10	Le?on 2 の単語テスト ホテルのフロントでの会話：空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 動詞 avoir（持っている）の活用を覚える	A B C D
11	否定形について学ぶ「持っていない」 会話練習「...を持っていますか？」「持ってますよ、はいどうぞ」「すみません、持ってません」 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ	A B C D
12	avor活用テスト 表現「どなたつづりですか？」名前のつづりを言ってみる つづり字の読み方：リエゾン・アンシェヌマンについて知る：音に気を付けてシャンソンを聴いてみる 20から60までの数が言えるようになる	A B C D
13	指示形容詞「この・その・あの」 動詞活用の調べ方を知る いろいろな単語のスペルを尋ねたり、言う練習；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
14	課題提出・解答 Le?on 3 の単語確認	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029006	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M4~M6_D1・D2_K1) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	M4~M6_D1・D2_K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は「パラレル1」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、パリの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込みます。各課が終わるときには語彙ページが全て記入されているようにします。動詞活用を繰り返し練習し、発音と筆記ができるようにします。		
キーワード / Key word	フランス語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パラレル1」(白水社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	(先輩のメッセージ) 「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！」と先輩も言ってくれます。 昨年は18人の先輩たちがフランスへ語学短期研修に行き、3人の先輩たちがアンジェ大学で2か月あるいは6か月の研修を受けました。皆さんもいつかフランスでフランス語を使ってみたいですね。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	フランスってどんな国？ フランスについて知っていることをお互い話そう 日本語の中のフランス語	A B C D
2	フランス語圏とフランスの周りの国々を知る アルファベットの発音と母音字の読み方を知る フランス語で挨拶してみる	A B C D
3	子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみる 基本表現を覚えて言う（お礼、謝る、など） 出合い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム	A B C D
4	「あれ・これは...ですか？」「...です」；「...があります」（提示の表現） 名詞の性と数を知る 不定冠詞と定冠詞を知る；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
5	課題提出・解答 会話練習「何ですか？」「...です」；「...は何という意味ですか？」「...という意味です」 フランス人の挨拶の仕方を動画で見る；Le?on 1 の単語確認	A B C D
6	Le?on 1 の単語テスト 名前と国籍の言い方を覚える；表現「...はフランス語で何と言いますか？」 会話練習で名前・国籍・身分が言えるようになる	A B C D
7	国名と国籍、身分・職業の語彙を知る 表現「...はフランス語で何と言いますか？」を使う練習 主語代名詞と動詞?tre(...である)の活用を覚える	A B C D
8	動詞 ?tre 活用テスト 形容詞の性・数一致の規則を知る 1から20までの数を数えられるようになる；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
9	課題提出・解答 つづり字の読み方：読まない字	A B C D
10	Le?on 2 の単語テスト ホテルのフロントでの会話：空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 動詞 avoir（持っている）の活用を覚える	A B C D
11	否定形について学ぶ「持っていない」 会話練習「...を持っていますか？」「持ってますよ、はいどうぞ」「すみません、持ってません」 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ	A B C D
12	avor活用テスト 表現「どなたつづりですか？」名前のつづりを言ってみる つづり字の読み方：リエゾン・アンシェヌマンについて知る：音に気を付けてシャンソンを聴いてみる 20から60までの数が言えるようになる	A B C D
13	指示形容詞「この・その・あの」 動詞活用の調べ方を知る いろいろな単語のスペルを尋ねたり、言う練習；Exercicesやってくる（課題）	A B C D
14	課題提出・解答 Le?on 3 の単語確認	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590029007	科目番号 / Subject code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M1~M3_K2・K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	M1~M3_K2・K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記メールアドレスにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は「Parallele 1」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上手に取れるようになるかを考えて作られています。また、フランスの観光地、ブティック、美術館、カフェ、レストランなどの、美しいだけでなく、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、ホームステイに行った時、日常生活に必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 - フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 - 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 - 基本動詞 ?tre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 - 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 - 「日本 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前に新出単語等の意味を調べ、教科書の語彙のページに書き込む。各課が終わるときには語彙ページが全て記入されているようにする。動詞活用を繰り返し練習し、発音と筆記ができるようにする。		
キーワード / Key word	「パラレル1」(白水社1)		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。生協には「デイリーコンサイス仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	フランスってどんな国？ フランスについて知っていることをお互い話そう 日本語の中のフランス語
2	フランス語圏とフランスの周りの国々を知る アルファベットの発音と母音字の読み方を知る フランス語で挨拶してみる
3	子音字の読み方とその他の規則を知り、フランス語の単語を読んでみる 基本表現を覚えて言う（お礼、謝る、など） 出会い：初対面の会話；フランス人のファーストネーム
4	「あれ・これは...ですか？」「...です」；「...があります」（提示の表現） 名詞の性と数を知る 不定冠詞と定冠詞を知る；Exercicesやってくる（課題）
5	課題提出・解答 会話練習「何ですか？」「...です」；「...は何という意味ですか？」「...という意味です」 フランス人の挨拶の仕方を動画で見る；Leçon 1 の単語確認
6	Leçon 1 の単語テスト 名前と国籍の言い方を覚える；表現「...はフランス語で何と言いますか？」 会話練習で名前・国籍・身分が言えるようになる
7	国名と国籍、身分・職業の語彙を知る 表現「...はフランス語で何と言いますか？」を使う練習 主語代名詞と動詞？tre(...である)の活用を覚える
8	動詞？tre 活用テスト 形容詞の性・数一致の規則を知る 1から20までの数を数えられるようになる；Exercicesやってくる（課題）
9	課題提出・解答 つづり字の読み方：読まない字
10	Leçon 2 の単語テスト ホテルのフロントでの会話：空いている部屋はありますか？荷物はありますか？ 動詞 avoir（持っている）の活用を覚える
11	否定形について学ぶ「持っていない」 会話練習「...を持っていますか？」「持ってますよ、はいどうぞ」「すみません、持ってません」 動詞 avoir を使ったいろいろな表現を学ぶ
12	avoir活用テスト 表現「どんなつづりですか？」名前のつづりを言ってみる つづり字の読み方：リエゾン・アンシェヌマンについて知る：音に気を付けてシャンソンを聴いてみる 20から60までの数が言えるようになる
13	指示形容詞「この・その・あの」 動詞活用の調べ方を知る いろいろな単語のスペルを尋ねたり、言う練習；Exercicesやってくる（課題）
14	課題提出・解答 Leçon 3 の単語確認
15	復習と試験対策

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031001	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (L(仏2)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	L(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記アドレスのE-mailかLACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使いできるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031002	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Target students	E(仏2)_F1 ~ F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に非常勤講師室で質問等を受け付けます。それ以外はメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使い、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr@ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031003	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E(仏1)_P1・P2_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	E(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1)「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2)形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使いできるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3)フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4)簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego(自己学習) 10%を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr@ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031004	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (E(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	E(仏2)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ?」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使いできるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr@ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031005	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (G1~G3_L(仏1)) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	G1~G3_L		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使いできるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr@ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031006	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M1~M3_K2・K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	M1 ~ M3_K2・K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使えるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr@ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590031007	科目番号 / Subject code	05900310
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11219_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (M4 ~ M6_D1・D2_K1) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	M4 ~ M6_D1・D2_K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記メールアドレスにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の多くの地域で話され、世界中の学校で学ばれているフランス語。この授業ではフランス語で自分や身の回りのことを語ったり相手に尋ねるといったコミュニケーションの基礎を学びます。学習した知識をすぐにコミュニケーション活動に結びつけ、実践的表現力を身につけていく授業です。		
授業到達目標/Course goals	ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベルに到達するための入門段階になります。具体的にはフランス語のアルファベットと綴りの読み方の基礎を覚える、国籍や身分を言う、住んでいるところや出身地について話す、交通手段について話す、などの日常会話ができるようになることです。 (1) 「行く」「来る」「ここはどこ？」などの基本動詞や基本表現を使えるようにします。 (2) 形容詞や代名詞を使い、近い未来や近い過去などを使いできるようにし、フランス語の文法の構造を理解します。 (3) フランス人との交流においてしばしば話題として取り上げられるスポーツやフランスでの生活に不可欠な道の尋ね方、ホテルの泊り方、レストランでの注文の仕方を学びます。 (4) 簡単なメールが書けるようになります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above できたらフランス人の学生に授業に来てもらい、2つの国の文化や社会の相違を検討する。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10% を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、教科書の新しい単語の意味を調べてきてください。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をして下さい。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「パラレル1」(白水社1) 辞書(仏和辞典あるいは電子辞書)は必ず必要です。 生協には「デイリーコンサイズ仏和和仏辞典」が売っています。なお、電子辞書の「フランス旅行会話」は全く役にたちません。きちんとしたフランス語辞書を入れて下さい。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks(URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。語学はコミュニケーションのために勉強します。質問も大切なコミュニケーションです。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	「兄弟はいますか」(1) 1) 家族の単語を学ぶ 2) 質問してみる・ 3) 「マルシェ」って何?	A B D
第2回	「兄弟はいますか?」(2) 1) 好きなものは何? 2) 「歌う」の動詞を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第3回	「兄弟はいますか」(3) 1) 何か国語話せる? 2) 数字を覚える 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第4回	「映画に行く?」(1) 1) 「aller 行く」の動詞を使ってみよう 2) フランス映画を知る 3) ペアレッスンをしてみよう	A B C D
第5回	「映画に行く?」(2) 1) 「venir 来る」の動詞を使ってみよう 2) どこに行くか会話する 3) チャットをしよう	A B C D
第6回	「映画に行く?」(3) 1) 「どれが好き?」を学ぶ 2) 単語の小テスト 3) 練習問題を解く	A B C D
第7回	「明日からバカンス!」(1) 1) 「faire する」の動詞を知ろう 2) 「今から~する」を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第8回	「明日からバカンス!」(2) 1) 「今終わったところ」の表現を学ぶ 2) 「どこにバカンスに行くの?」と会話してみよう 3) 練習問題を解く	A B C D
第9回	「明日からバカンス!」(3) 1) 「どんな quel」ホテル? 2) フランスの観光地を知ろう。 3) 「このおみやげいくらですか?」	A B C D
第10回	「バカンスでしたことを話そう」(1) 1) 「大きい」「幸せ」「おいしい」形容詞を知る 2) 「この人は誰?」 3) 練習問題を解く	A B C D
第11回	「バカンスでしたことを話そう」(2) 1) 「どこを観光したの?」 2) 「モンサンミッシェルはこんなところ」 3) ペアレッスン	A B C D
第12回	「バカンスでしたことを話そう」(3) 1) 「この人と友達になったよ」 2) どこに旅行に行きたい? 3) フランス語を聞き取ろう	A B C D
第13回	「料理は何にする?」 1) du, de la, des を学ぶ 2) 飲み物を知る 3) フレンチのコース料理について知ろう	A B C D
第14回	「料理は何にする」(2) 1) 「注文する prendre」の動詞を学ぼう 2) 「~が食べたい」 3) フランスの朝ごはんはどんなの?	A B C D
第15回	「料理は何にする?」(3) 1) デザートは何が好き? 2) レストランで注文する。 3) ペアレッスン	A B C D
第16回	統一試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590033001	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T1~2T8) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	2D1_2T9・2T10_2K1 ~ 2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo..ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	tomita tc.nagasaki-gaigo..ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に非常勤講師室で質問等を受け付けます。それ以外はメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書はH29年度フランス語 I, IIで使用した<パリ ボルドー>を継続使用します。フランスに留学生ミカの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 (2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 (3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 10%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 15% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。事後学習はネット上のfr@ancegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」 (朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第一回	「何に興味がある？」(1) 1) 国名を知る 2) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C D
第二回	「何に興味がある？」(2) 1) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第三回	「何に興味がある？」(3) 1) ボルドーのワインを知る 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 聞き取り練習	A B C D
第四回	「友達を誘う」(1) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第五回	「友達を誘う」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 日常生活を言う 3) 単語小テスト	A B C D
第六回	「友達を誘う」(3) 1) 代名詞を入れてみよう 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン	A B C
第七回	「天気と時間を言う」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題	A B C D
第八回	「天気と時間を言う」(2) 1) 「今日は天気がいい」 2) 「～して」「～しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第九回	「天気と時間を言う」(3) 1) 「なんておいしいんだろう！」感嘆文を作る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第十回	何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第十一回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第十二回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第十三回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第十四回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D
第十五回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう。	A B C D
第十六回	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590033002	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2D1_2T9・2T10_2K1 ~ 2K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	2D1_2T9・2T10_2K1 ~ 2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書はH29年度フランス語 I, IIで使用した<パリ ボルドー>を継続使用します。フランスに留学生ミカの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 (2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 (3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 10%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 15% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。事後学習はネット上のfr@ancegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」 (朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第一回	「何に興味がある？」(1) 1) 国名を知る 2) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C D
第二回	「何に興味がある？」(2) 1) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第三回	「何に興味がある？」(3) 1) ボルドーのワインを知る 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 聞き取り練習	A B C D
第四回	「友達を誘う」(1) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第五回	「友達を誘う」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 日常生活を言う 3) 単語小テスト	A B C D
第六回	「友達を誘う」(3) 1) 代名詞を入れてみよう 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン	A B C
第七回	「天気と時間を言う」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題	A B C D
第八回	「天気と時間を言う」(2) 1) 「今日は天気がいい」 2) 「～して」「～しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第九回	「天気と時間を言う」(3) 1) 「なんておいしいんだろう！」感嘆文を作る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第十回	何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第十一回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第十二回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第十三回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第十四回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D
第十五回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう。	A B C D
第十六回	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590033003	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2M1~2M3_2D2) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	(2M1 ~ 2M3_2D2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書はH29年度フランス語 I, IIで使用した<パリ ボルドー>を継続使用します。フランスに留学生ミカの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 (2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 (3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 10%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 15% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。事後学習はネット上のfr@ancegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」 (朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第一回	「何に興味がある？」(1) 1) 国名を知る 2) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C D
第二回	「何に興味がある？」(2) 1) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第三回	「何に興味がある？」(3) 1) ボルドーのワインを知る 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 聞き取り練習	A B C D
第四回	「友達を誘う」(1) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第五回	「友達を誘う」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 日常生活を言う 3) 単語小テスト	A B C D
第六回	「友達を誘う」(3) 1) 代名詞を入れてみよう 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン	A B C
第七回	「天気と時間を言う」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題	A B C D
第八回	「天気と時間を言う」(2) 1) 「今日は天気がいい」 2) 「～して」「～しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第九回	「天気と時間を言う」(3) 1) 「なんておいしいんだろう！」感嘆文を作る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第十回	何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第十一回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第十二回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第十三回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第十四回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D
第十五回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう。	A B C D
第十六回	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590033004	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2G1~2G3_2E1) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2D1_2T9・2T10_2K1~2K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00?12:50 水曜日 12:00?12:50 木曜日 10:30?12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書はH29年度フランス語1, IIで使用した<パリ ボルドー>を継続使用します。フランスに留学生ミカの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1)重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 10%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 15% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。事後学習はネット上のfr@ancegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書:「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典:「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第一回	「何に興味がある？」(1) 1) 国名を知る 2) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C D
第二回	「何に興味がある？」(2) 1) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第三回	「何に興味がある？」(3) 1) ボルドーのワインを知る 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 聞き取り練習	A B C D
第四回	「友達を誘う」(1) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第五回	「友達を誘う」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 日常生活を言う 3) 単語小テスト	A B C D
第六回	「友達を誘う」(3) 1) 代名詞を入れてみよう 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン	A B C
第七回	「天気と時間を言う」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題	A B C D
第八回	「天気と時間を言う」(2) 1) 「今日は天気がいい」 2) 「～して」「～しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第九回	「天気と時間を言う」(3) 1) 「なんておいしいんだろう！」感嘆文を作る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第十回	何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第十一回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第十二回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第十三回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第十四回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D
第十五回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう。	A B C D
第十六回	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590033005	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2E2~2E6) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Ohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2E2~2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記アドレスのE-mailあるいはLACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書はH29年度フランス語1, IIで使用した<パリ ボルドー>を継続使用します。フランスに留学生ミカの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1)重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 (2)数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 (3)一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 10%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 15% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。事後学習はネット上のfr@ancegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第一回	「何に興味がある？」(1) 1) 国名を知る 2) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C D
第二回	「何に興味がある？」(2) 1) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第三回	「何に興味がある？」(3) 1) ボルドーのワインを知る 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 聞き取り練習	A B C D
第四回	「友達を誘う」(1) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第五回	「友達を誘う」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 日常生活を言う 3) 単語小テスト	A B C D
第六回	「友達を誘う」(3) 1) 代名詞を入れてみよう 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン	A B C
第七回	「天気と時間を言う」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題	A B C D
第八回	「天気と時間を言う」(2) 1) 「今日は天気がいい」 2) 「～して」「～しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第九回	「天気と時間を言う」(3) 1) 「なんておいしいんだろう！」感嘆文を作る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第十回	何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第十一回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第十二回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第十三回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第十四回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D
第十五回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう。	A B C D
第十六回	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590033006	科目番号 / Subject code	05900330
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11319_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Ohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記アドレスのE-mailあるいはLACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書はH29年度フランス語1, IIで使用した<パリ ボルドー>を継続使用します。フランスに留学生ミカの体験を通して日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 重要基本動詞の現在形活用ができるようになる。 (2) 数・曜日・余暇etc.の語彙を言えるようになる。 (3) 一週間の予定を話す・道を尋ねる/教える・時間を言うetc.の表現を使えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above フランス人留学生をよんで、交流する。フランスへ留学した学生をよんで話を聞く。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 10%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 15% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、知らない単語を調べて下さい。事後学習はネット上のfr@ancegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」 (朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」 (三省堂) を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第一回	「何に興味がある？」(1) 1) 国名を知る 2) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 3) ペアレッスン	A B C D
第二回	「何に興味がある？」(2) 1) 「私を」「君を」「彼を」直接目的語を覚えよう 2) フランス語の質問に答えよう 3) シャドーウイングをする	A B C D
第三回	「何に興味がある？」(3) 1) ボルドーのワインを知る 2) 前置詞と冠詞を短くしよう 3) 聞き取り練習	A B C D
第四回	「友達を誘う」(1) 1) 「代名動詞 se coucher」を覚える 2) 何をしたい？ 3) 動詞の活用を書こう	A B C D
第五回	「友達を誘う」(2) 1) 乗り物の単語を覚える 2) 日常生活を言う 3) 単語小テスト	A B C D
第六回	「友達を誘う」(3) 1) 代名詞を入れてみよう 2) 「それ y」を覚える 3) ペアレッスン	A B C
第七回	「天気と時間を言う」(1) 1) 何時ですか？ 2) 時間の言い方を覚える 3) 練習問題	A B C D
第八回	「天気と時間を言う」(2) 1) 「今日は天気がいい」 2) 「～して」「～しよう」命令法を学ぶ 3) 聞き取りをする	A B C D
第九回	「天気と時間を言う」(3) 1) 「なんておいしいんだろう！」感嘆文を作る 2) 長文を読んでみる 3) チャットをしよう	A B C D
第十回	何を食べる？」(1) 1) マルシェで買い物をしてみよう 2) 「たくさん」「少し」数量表現を学ぶ 3) ペアレッスン	A B C D
第十一回	「何を食べる？」(2) 1) フランスの食事の順番は？ 2) カフェで飲み物を注文する 3) 練習問題をする	A B C D
第十二回	「何を食べる？」(3) 1) レストランでメニューを見ながら注文する：フランス料理について知る 2) 中生代名詞en 3) ペアレッスン	A B C D
第十三回	「何を食べる？」(4) 1) どんなデザートが好き？ 2) 朝ごはんは何を食べる？ 3) 聞き取りをする	A B C D
第十四回	グループに分かれて会話を自由に作ろう	A B C D
第十五回	作った会話を覚えて、Ipadでビデオをとろう。	A B C D
第十六回	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590035001	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2T1~2T8) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2T1~2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記メールアドレスにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は<パリ ボルドー>を引き続き使用します。教科書が終了したら、フランス語の9月の研修でいく<パリ プルゴーニユ>を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 比較級を用いて「より...」「同じくらい...」「より...ではない」といった比較の表現ができるようになる - 動詞の単純未来を用いて未来の予想を語れるようになる - 複合過去・半過去を用いて過去のできごとを語ったり描写できるようになる - 条件法現在を用いて仮定の話をしたり、丁寧な言い方ができるようになる - 接続法現在を用いて不確定、願望、疑い、感情、義務などの様々な表現ができるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego (自己学習) 10%を総合的に判断する		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次に進む教科書の知らない単語を調べて下さい。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	「比較してみる」(1) 1) 「イギリスはフランスと同じくらい美しい？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 比較級について学び、人・ものを比べる表現ができるようになる 語彙：原則から外れる女性形を持つ形容詞 Exercices	A B C D
2	「比較してみる」(2) 1) 動詞の単純未来形を学び、未来について語れるようになる 2) 動詞を単純未来形に活用させる練習 3) 聴き取り・書き取り練習	A B C D
3	「比較してみる」(3) 1) エッフェル塔・東京タワー・スカイツリーを比べてみる 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：フランスとイギリス	A B C D
4	Le?on 12 の復習小テスト 1) 「ポルドーはどうだった？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 動詞の複合過去時制活用を学ぶ(その1)	A B C D
5	「過去のことを話す」(1) 1) 複合過去時制活用を学ぶ(その2) 2) 動詞を複合過去に活用させる練習 3) 助動詞に ?tre を取る動詞とその過去分詞を知る	A B C D
6	「過去のことを話す」(3) 1) 練習問題で複合過去の活用の理解を確かめる 2) 動詞の半過去時制活用を学ぶ	A B C D
7	「過去のことを話す」(4) 1) 動詞を半過去に活用させる練習 2) 聴き取り・書き取り練習 3) 複合過去を使って会話練習「何をしましたか？」	A B C D
8	「まとめてみよう」 1) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 2) Civilisation：フランス人とバカンス 3) 課題：今年の夏休みにしたことを書く	A B C D
9	1) 仏検4級をめざす模擬試験形式の問題に取り組む 2) 「ポルドーは気に入った？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える	A B C D
10	「仮定を学ぶ」(1) 1) 動詞の条件法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を条件法現在に活用させる練習 3) 語彙：月と曜日	A B C D
11	「仮定を学ぶ」(2) 1) 条件法現在の用法について学ぶ(仮定・丁寧表現) 2) 条件法現在の練習問題 3) 仮定法をの文を作ってみる「もし...なら~だろう」	A B C D
12	「仮定を学ぶ」(3) 1) 動詞の接続法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を接続法現在に活用させる練習 3) 接続法の用法について知る	A B C D
13	「フランス文化を知る」 1) 聴き取り・書き取り練習 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：ブドウの収穫の季節	A B C D
14	「フランス語を振り返ってみる」 1) 復習のための動詞活用テスト：単純未来・複合過去・半過去・条件法現在・接続法現在 2) 後期の復習(1)	A B C D
15	後期の復習(2)と試験対策	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590035002	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2D1_2T9・2T10_2K1 ~ 2K3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	富田 高嗣 / Takatugu Tomita, 大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	富田 高嗣 / Takatugu Tomita		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students	2E2 ~ 2E6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送る際には を@にしてください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	tomita tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送る際には を@にしてください)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後に非常勤講師室で質問等を受け付けます。それ以外はメールで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	教科書は<パリ ボルドー>を引き続き使用します。教科書が終了したら、フランス語の9月の研修で<パリ ブルゴーニュ>を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 比較級を用いて「より...」「同じくらい...」「より...ではない」といった比較の表現ができるようになる - 動詞の単純未来を用いて未来の予想を語れるようになる - 複合過去・半過去を用いて過去のできごとを語ったり描写できるようになる - 条件法現在を用いて仮定の話をしたり、丁寧な言い方ができるようになる - 接続法現在を用いて不確定、願望、疑い、感情、義務などの様々な表現ができるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15% や課題 15%、授業態度 10%、Fr@ncego (自己学習) 10% を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次に進む教科書の知らない単語を調べて下さい。事後学習は、ネット上のfr@ncegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	「比較してみる」(1) 1) 「イギリスはフランスと同じくらい美しい？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 比較級について学び、人・ものを比べる表現ができるようになる 語彙：原則から外れる女性形を持つ形容詞 Exercices	A B C D
2	「比較してみる」(2) 1) 動詞の単純未来形を学び、未来について語れるようになる 2) 動詞を単純未来形に活用させる練習 3) 聴き取り・書き取り練習	A B C D
3	「比較してみる」(3) 1) エッフェル塔・東京タワー・スカイツリーを比べてみる 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：フランスとイギリス	A B C D
4	Leçon 12 の復習小テスト 1) 「ポルドーはどうだった？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 動詞の複合過去時制活用を学ぶ(その1)	A B C D
5	「過去のことを話す」(1) 1) 複合過去時制活用を学ぶ(その2) 2) 動詞を複合過去に活用させる練習 3) 助動詞に ?tre を取る動詞とその過去分詞を知る	A B C D
6	「過去のことを話す」(3) 1) 練習問題で複合過去の活用の理解を確かめる 2) 動詞の半過去時制活用を学ぶ	A B C D
7	「過去のことを話す」(4) 1) 動詞を半過去に活用させる練習 2) 聴き取り・書き取り練習 3) 複合過去を使って会話練習「何をしましたか？」	A B C D
8	「まとめてみよう」 1) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 2) Civilisation：フランス人とバカンス 3) 課題：今年の夏休みにしたことを書く	A B C D
9	1) 仏検4級をめざす模擬試験形式の問題に取り組む 2) 「ポルドーは気に入った？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える	A B C D
10	「仮定を学ぶ」(1) 1) 動詞の条件法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を条件法現在に活用させる練習 3) 語彙：月と曜日	A B C D
11	「仮定を学ぶ」(2) 1) 条件法現在の用法について学ぶ(仮定・丁寧表現) 2) 条件法現在の練習問題 3) 仮定法をの文を作ってみる「もし...なら~だろう」	A B C D
12	「仮定を学ぶ」(3) 1) 動詞の接続法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を接続法現在に活用させる練習 3) 接続法の用法について知る	A B C D
13	「フランス文化を知る」 1) 聴き取り・書き取り練習 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：ブドウの収穫の季節	A B C D
14	「フランス語を振り返ってみる」 1) 復習のための動詞活用テスト：単純未来・複合過去・半過去・条件法現在・接続法現在 2) 後期の復習(1)	A B C D
15	後期の復習(2)と試験対策	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590035003	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2M1~2M3_2D2) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2M1~2M3_2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は<パリ ボルドー>を引き続き使用します。教科書が終了したら、フランス語の9月の研修で<パリ ブルゴーニュ>を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 比較級を用いて「より...」「同じくらい...」「より...ではない」といった比較の表現ができるようになる - 動詞の単純未来を用いて未来の予想を語れるようになる - 複合過去・半過去を用いて過去のできごとを語ったり描写できるようになる - 条件法現在を用いて仮定の話をしたり、丁寧な言い方ができるようになる - 接続法現在を用いて不確定、願望、疑い、感情、義務などの様々な表現ができるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次に進む教科書の知らない単語を調べて下さい。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をしてください。		
キーワード/Key word	フランス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を搭載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	よく今まで頑張りました。いつかフランスに遊びに行ってくださいね。		

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	「比較してみる」(1) 1) 「イギリスはフランスと同じくらい美しい？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 比較級について学び、人・ものを比べる表現ができるようになる 語彙：原則から外れる女性形を持つ形容詞 Exercices	A B C D
2	「比較してみる」(2) 1) 動詞の単純未来形を学び、未来について語れるようになる 2) 動詞を単純未来形に活用させる練習 3) 聴き取り・書き取り練習	A B C D
3	「比較してみる」(3) 1) エッフェル塔・東京タワー・スカイツリーを比べてみる 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：フランスとイギリス	A B C D
4	Le?on 12 の復習小テスト 1) 「ポルドーはどうだった？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 動詞の複合過去時制活用を学ぶ(その1)	A B C D
5	「過去のことを話す」(1) 1) 複合過去時制活用を学ぶ(その2) 2) 動詞を複合過去に活用させる練習 3) 助動詞に ?tre を取る動詞とその過去分詞を知る	A B C D
6	「過去のことを話す」(3) 1) 練習問題で複合過去の活用の理解を確かめる 2) 動詞の半過去時制活用を学ぶ	A B C D
7	「過去のことを話す」(4) 1) 動詞を半過去に活用させる練習 2) 聴き取り・書き取り練習 3) 複合過去を使って会話練習「何をしましたか？」	A B C D
8	「まとめてみよう」 1) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 2) Civilisation：フランス人とバカンス 3) 課題：今年の夏休みにしたことを書く	A B C D
9	1) 仏検4級をめざす模擬試験形式の問題に取り組む 2) 「ポルドーは気に入った？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える	A B C D
10	「仮定を学ぶ」(1) 1) 動詞の条件法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を条件法現在に活用させる練習 3) 語彙：月と曜日	A B C D
11	「仮定を学ぶ」(2) 1) 条件法現在の用法について学ぶ(仮定・丁寧表現) 2) 条件法現在の練習問題 3) 仮定法をの文を作ってみる「もし...なら~だろう」	A B C D
12	「仮定を学ぶ」(3) 1) 動詞の接続法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を接続法現在に活用させる練習 3) 接続法の用法について知る	A B C D
13	「フランス文化を知る」 1) 聴き取り・書き取り練習 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：ブドウの収穫の季節	A B C D
14	「フランス語を振り返ってみる」 1) 復習のための動詞活用テスト：単純未来・複合過去・半過去・条件法現在・接続法現在 2) 後期の復習(1)	A B C D
15	後期の復習(2)と試験対策	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590035004	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2G1~2G3_2E1) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2G1~2G3_2E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00~12:50 水曜日 12:00~12:50 木曜日 10:30~12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は<パリ ボルドー>を引き続き使用します。教科書が終了したら、フランス語の9月の研修でいく<パリ プルゴーニュ>を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 比較級を用いて「より...」「同じくらい...」「より...ではない」といった比較の表現ができるようになる - 動詞の単純未来を用いて未来の予想を語れるようになる - 複合過去・半過去を用いて過去のできごとを語ったり描写できるようになる - 条件法現在を用いて仮定の話をしたり、丁寧な言い方ができるようになる - 接続法現在を用いて不確定、願望、疑い、感情、義務などの様々な表現ができるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次に進む教科書の知らない単語を調べて下さい。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	今までよく頑張りました。いつかフランスに遊びに行ってくださいね。		

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	「比較してみる」(1) 1) 「イギリスはフランスと同じくらい美しい？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 比較級について学び、人・ものを比べる表現ができるようになる 語彙：原則から外れる女性形を持つ形容詞 Exercices	A B C D
2	「比較してみる」(2) 1) 動詞の単純未来形を学び、未来について語れるようになる 2) 動詞を単純未来形に活用させる練習 3) 聴き取り・書き取り練習	A B C D
3	「比較してみる」(3) 1) エッフェル塔・東京タワー・スカイツリーを比べてみる 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：フランスとイギリス	A B C D
4	Le?on 12 の復習小テスト 1) 「ポルドーはどうだった？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 動詞の複合過去時制活用を学ぶ(その1)	A B C D
5	「過去のことを話す」(1) 1) 複合過去時制活用を学ぶ(その2) 2) 動詞を複合過去に活用させる練習 3) 助動詞に ?tre を取る動詞とその過去分詞を知る	A B C D
6	「過去のことを話す」(3) 1) 練習問題で複合過去の活用の理解を確かめる 2) 動詞の半過去時制活用を学ぶ	A B C D
7	「過去のことを話す」(4) 1) 動詞を半過去に活用させる練習 2) 聴き取り・書き取り練習 3) 複合過去を使って会話練習「何をしましたか？」	A B C D
8	「まとめてみよう」 1) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 2) Civilisation：フランス人とバカンス 3) 課題：今年の夏休みにしたことを書く	A B C D
9	1) 仏検4級をめざす模擬試験形式の問題に取り組む 2) 「ポルドーは気に入った？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える	A B C D
10	「仮定を学ぶ」(1) 1) 動詞の条件法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を条件法現在に活用させる練習 3) 語彙：月と曜日	A B C D
11	「仮定を学ぶ」(2) 1) 条件法現在の用法について学ぶ(仮定・丁寧表現) 2) 条件法現在の練習問題 3) 仮定法をの文を作ってみる「もし...なら~だろう」	A B C D
12	「仮定を学ぶ」(3) 1) 動詞の接続法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を接続法現在に活用させる練習 3) 接続法の用法について知る	A B C D
13	「フランス文化を知る」 1) 聴き取り・書き取り練習 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：ブドウの収穫の季節	A B C D
14	「フランス語を振り返ってみる」 1) 復習のための動詞活用テスト：単純未来・複合過去・半過去・条件法現在・接続法現在 2) 後期の復習(1)	A B C D
15	後期の復習(2)と試験対策	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590035005	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2E2~2E6) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Ohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2E2~2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記メールアドレスまたはLACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は<パリ ボルドー>を引き続き使用します。教科書が終了したら、フランス語の9月の研修で<パリ ブルゴーニュ>を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 比較級を用いて「より...」「同じくらい...」「より...ではない」といった比較の表現ができるようになる - 動詞の単純未来を用いて未来の予想を語れるようになる - 複合過去・半過去を用いて過去のできごとを語ったり描写できるようになる - 条件法現在を用いて仮定の話をしたり、丁寧な言い方ができるようになる - 接続法現在を用いて不確定、願望、疑い、感情、義務などの様々な表現ができるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次に進む教科書の知らない単語を調べて下さい。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	「比較してみる」(1) 1) 「イギリスはフランスと同じくらい美しい？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 比較級について学び、人・ものを比べる表現ができるようになる 語彙：原則から外れる女性形を持つ形容詞 Exercices	A B C D
2	「比較してみる」(2) 1) 動詞の単純未来形を学び、未来について語れるようになる 2) 動詞を単純未来形に活用させる練習 3) 聴き取り・書き取り練習	A B C D
3	「比較してみる」(3) 1) エッフェル塔・東京タワー・スカイツリーを比べてみる 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：フランスとイギリス	A B C D
4	Le?on 12 の復習小テスト 1) 「ポルドーはどうだった？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 動詞の複合過去時制活用を学ぶ(その1)	A B C D
5	「過去のことを話す」(1) 1) 複合過去時制活用を学ぶ(その2) 2) 動詞を複合過去に活用させる練習 3) 助動詞に ?tre を取る動詞とその過去分詞を知る	A B C D
6	「過去のことを話す」(3) 1) 練習問題で複合過去の活用の理解を確かめる 2) 動詞の半過去時制活用を学ぶ	A B C D
7	「過去のことを話す」(4) 1) 動詞を半過去に活用させる練習 2) 聴き取り・書き取り練習 3) 複合過去を使って会話練習「何をしましたか？」	A B C D
8	「まとめてみよう」 1) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 2) Civilisation：フランス人とバカンス 3) 課題：今年の夏休みにしたことを書く	A B C D
9	1) 仏検4級をめざす模擬試験形式の問題に取り組む 2) 「ポルドーは気に入った？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える	A B C D
10	「仮定を学ぶ」(1) 1) 動詞の条件法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を条件法現在に活用させる練習 3) 語彙：月と曜日	A B C D
11	「仮定を学ぶ」(2) 1) 条件法現在の用法について学ぶ(仮定・丁寧表現) 2) 条件法現在の練習問題 3) 仮定法をの文を作ってみる「もし...なら~だろう」	A B C D
12	「仮定を学ぶ」(3) 1) 動詞の接続法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を接続法現在に活用させる練習 3) 接続法の用法について知る	A B C D
13	「フランス文化を知る」 1) 聴き取り・書き取り練習 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：ブドウの収穫の季節	A B C D
14	「フランス語を振り返ってみる」 1) 復習のための動詞活用テスト：単純未来・複合過去・半過去・条件法現在・接続法現在 2) 後期の復習(1)	A B C D
15	後期の復習(2)と試験対策	A B C D

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590035006	科目番号 / Subject code	05900350
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEFR 11419_032		
授業科目名 / Subject	フランス語 (2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3) / French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko, 大橋 絵理 / Ohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	2L1~2L3_2P1・2P2_2F1~2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03@gmail.com(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は上記メールアドレスあるいはLACSのメッセージで受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	教科書は<パリ ボルドー>を引き続き使用します。教科書が終了したら、フランス語の9月の研修で<パリ ブルゴーニュ>を勉強します。日常的なフランス語会話を通じて、日常の基本コミュニケーションに必要な語句、表現を身につけ、文の仕組みを明らかにする文法も併せて学んでいきます。教科書の内容だけでなく、フランス語が話されている背景であるフランスの社会や文化、歴史にも目を向けるために映像や画像、音楽も積極的に取り入れていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> - 比較級を用いて「より...」「同じくらい...」「より...ではない」といった比較の表現ができるようになる - 動詞の単純未来を用いて未来の予想を語れるようになる - 複合過去・半過去を用いて過去のできごとを語ったり描写できるようになる - 条件法現在を用いて仮定の話をしたり、丁寧な言い方ができるようになる - 接続法現在を用いて不確定、願望、疑い、感情、義務などの様々な表現ができるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、小テスト 15%や課題 15%、授業態度 10%、Fr ncego(自己学習) 10%を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習は、次に進む教科書の知らない単語を調べて下さい。事後学習は、ネット上のfr ncegoの練習問題をしてください。		
キーワード / Key word	フランス		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: 「パリ ボルドー」(朝日出版社) 参考書: 仏和辞典: 「デイリーコンサイス仏和・和仏辞典」(三省堂)を薦めます。生協にあります。または仏和・和仏辞典を掲載した電子辞書もお薦めです。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	「比較してみる」(1) 1) 「イギリスはフランスと同じくらい美しい？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 比較級について学び、人・ものを比べる表現ができるようになる 語彙：原則から外れる女性形を持つ形容詞 Exercices	A B C D
2	「比較してみる」(2) 1) 動詞の単純未来形を学び、未来について語れるようになる 2) 動詞を単純未来形に活用させる練習 3) 聴き取り・書き取り練習	A B C D
3	「比較してみる」(3) 1) エッフェル塔・東京タワー・スカイツリーを比べてみる 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：フランスとイギリス	A B C D
4	Leçon 12 の復習小テスト 1) 「ポルドーはどうだった？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える 2) 動詞の複合過去時制活用を学ぶ(その1)	A B C D
5	「過去のことを話す」(1) 1) 複合過去時制活用を学ぶ(その2) 2) 動詞を複合過去に活用させる練習 3) 助動詞に ?tre を取る動詞とその過去分詞を知る	A B C D
6	「過去のことを話す」(3) 1) 練習問題で複合過去の活用の理解を確かめる 2) 動詞の半過去時制活用を学ぶ	A B C D
7	「過去のことを話す」(4) 1) 動詞を半過去に活用させる練習 2) 聴き取り・書き取り練習 3) 複合過去を使って会話練習「何をしましたか？」	A B C D
8	「まとめてみよう」 1) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 2) Civilisation：フランス人とバカンス 3) 課題：今年の夏休みにしたことを書く	A B C D
9	1) 仏検4級をめざす模擬試験形式の問題に取り組む 2) 「ポルドーは気に入った？」MikaとThomasの会話を読み、意味を考える	A B C D
10	「仮定を学ぶ」(1) 1) 動詞の条件法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を条件法現在に活用させる練習 3) 語彙：月と曜日	A B C D
11	「仮定を学ぶ」(2) 1) 条件法現在の用法について学ぶ(仮定・丁寧表現) 2) 条件法現在の練習問題 3) 仮定法をの文を作ってみる「もし...なら~だろう」	A B C D
12	「仮定を学ぶ」(3) 1) 動詞の接続法現在の活用を学ぶ 2) 動詞を接続法現在に活用させる練習 3) 接続法の用法について知る	A B C D
13	「フランス文化を知る」 1) 聴き取り・書き取り練習 2) 短い文章を読み、日本語に訳す練習 3) Civilisation：ブドウの収穫の季節	A B C D
14	「フランス語を振り返ってみる」 1) 復習のための動詞活用テスト：単純未来・複合過去・半過去・条件法現在・接続法現在 2) 後期の復習(1)	A B C D
15	後期の復習(2)と試験対策	A B C D